

# 自死7割が男性の時代を考える

全国の自殺者数が毎年3万人を超え、京都府内でも14年連続で600人前後の方が自死に追い込まれています。中でも、全国、京都府内共に、男性の自死は自殺者全体の約7割を占めているという現状があります。

さらに、御遺族の方々においては、誰にも打ち明けることができない悲しみや辛さで、孤立感を深めておられるという事実も見逃すことはできません。

今回のシンポジウムでは、「なぜ日本では男性の自死者が多いのか」をテーマとし、ここ数年増加している、若い世代の就職難や過労等による自死や生きづらさについても取り上げるにより、一人ひとりが身近な問題として捉える機会にしたいと考えます。

参加無料

定員360名  
(先着順)

申込不要

日時 平成24年 9月8日 13:15~16:25  
(開場 12:30)

場所 龍谷大学アバンティ響都ホール

京都市南区東九条西山王町31 アバンティ9階  
[JR、地下鉄、近鉄各線 京都駅八条口より地下道南進スグ]

※手話通訳が必要な方は、当日開演までに、会場受付にお申込ください。

※駐車場はありませんので、公共交通機関を御利用ください。

## 基調講演 「自死7割が男性の時代を考える」

講師: 岩室 紳也 (ヘルスプロモーション研究センター センター長)

## シンポジウム

コーディネーター: 澤田 亮英 (京都新聞文化報道部 記者)

シンポジスト: 岩室 紳也 (ヘルスプロモーション研究センター センター長)

岩橋 誠 (NPO法人POSSE京都支部 事務局長)

石倉 紘子 (こころのカフェ きょうと(自死遺族サポートチーム) 代表)

## 問合せ先

京都府精神保健福祉総合センター TEL:075-641-1810 FAX:075-641-1819 (京都市伏見区竹田流池町120)

京都市こころの健康増進センター TEL:075-314-0355 FAX:075-314-0504 (京都市中京区壬生東高田町1-15)

こころのカフェ きょうと(自死遺族サポートチーム) TEL:090-8536-1729 (午後6時~午後9時)

京都自死・自殺相談センター事務局 TEL:075-365-1600 (平日 午前9時~午後5時)

【主催】 ●京都府 ●京都市 ●こころのカフェ きょうと(自死遺族サポートチーム) ●京都自死・自殺相談センター

【後援】 ●京都府教育委員会 ●京都市教育委員会 ●京都労働局 ●京都府医師会 ●(独) 京都産業保健推進センター

●(社) 日本産業カウンセラー協会 関西支部 ●京都弁護士会 ●京都司法書士会 ●京都商工会議所

●京都府社会福祉協議会 ●京都市社会福祉協議会 ●京都府臨床心理士会 ●(福) 京都いのちの電話

●NPO法人京都府断酒連合会 ●京都市自殺総合対策連絡協議会 (順不同、予定団体含む)

## 基調講演

# 「自死7割が男性の時代を考える」

講師

いわむろ しんや  
岩室 紳也 (ヘルスプロモーション研究センター センター長)

昭和30年8月13日京都市生まれ。昭和56年自治医科大学卒業。以後、神奈川県に22年間勤務。現在、公益社団法人地域医療振興協会ヘルスプロモーション研究センター長、厚木市立病院泌尿器科医。千葉県浦安市いのちとこころの支援対策協議会会長。

現在、岩手県陸前高田市、宮城県女川町、千葉県浦安市で震災からの復興を保健医療福祉の側面から特にこころのケアを重点的に支援。

第56回日本公衆衛生学会奨励賞受賞(「保健医療計画づくりに関する研究と実践」)。

日本思春期学会理事、日本泌尿器科学会指導医、日本性感染症学会代議員等。

出版物、メディア出演多数。

## シンポジウム

コーディネーター

さわだ りょうえい  
澤田 亮英 (京都新聞文化報道部 記者)

平成9年京都新聞入社。けいはんな総局、社会報道部、東京支社などで地域の話題、行政、選挙の取材を担当した。平成21年から宗教を担当し、社寺の伝統行事や京都に本山がある宗派の動向、宗教者による社会問題への取り組みを中心に取材している。石川県出身。

シンポジスト

いわむろ しんや  
岩室 紳也 (ヘルスプロモーション研究センター センター長)

いわはし まこと  
岩橋 誠 (NPO法人POSSE京都支部 事務局長)

1989年生まれ。愛知県出身。京都大学経済学部在籍。労働相談を中心に若者の貧困・格差問題に取り組むNPO法人POSSE(ポッセ)の京都支部事務局長。POSSEは、社会人や学生のボランティアが集まり、年間400件以上の労働相談を受け、解決のアドバイスをしている。また、そうした相談から見えてきた問題について、例年500人・3000人規模の調査を実施している。こうした活動を通じて、若者自身が社会のあり方にコミットすることを目指している。

いしくら ひろこ  
石倉 紘子 (こころのカフェ きょうと(自死遺族サポートチーム) 代表)

長野県生まれ。東京都職員として勤務。結婚後京都へ。昭和49年保育士資格取得、京都市さぶらん保育園勤務。自然の中でこころ豊かに育つ保育の実践を目指した。昭和60年夫が青森にて自死。平成6年電話相談員。平成7年阪神淡路大震災被災者支援のためボランティアを開始する。平成15年神戸自死遺族わかちあいの会スタッフ。平成16年保育園退職後、立命館大学文学部入学。立命館大学サークル「いのち こころ 死について考える会」代表として活動する。

平成16年 ライフリンク会員

平成18年2月 「こころのカフェ きょうと」(自死遺族サポートチーム)設立

平成19年11月 自死遺族のフリースペース開室(京都市こころの健康増進センター)

平成20年 大学卒業後、華頂短期大学講師

平成24年5月 近畿6府県自殺対策普及啓発事業選定委員